



町議会だより

# お・お・な・ん

No. 96

2026・1・15  
(R8)



## 20歳になりました！

晴れ姿が素敵だね

元気館 はたちを祝う会

12月  
定例会  
特集

今月の  
注目！

■ 物価高騰交付金第一弾決定 (3)

■ 団地のにごり水事案 (17)

新春のごあいさつ



# 住み心地の良い まちをめざして

邑南町議会  
議長

漆谷光夫

町民の皆さまにおかれましては、新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年、4月の町議選は定数割れとなり、12名の議員で議会がスタートしましたが、皆さまには町議会に対し、温かいご支援と格別のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

世界情勢が不安定の中、国内では高市内閣が癸足しました。さらに東京一極集中が加速し、地方では少子高齢化、人口減少、担い手不足が深刻化しています。

本年も財政再建、地域の活性化、産業振興、物価高騰対策など山積する課題に取り組み、議会としての役割と責任を果たしてまいります。

町民に寄り添い、皆さまの声を大切にしながら議会一丸となつて夢と希望を持って「住み心地の良いまち」を推進してまいりますので変わらぬご指導とご協力をお願い申し上げます。

邑南町のさらなる発展と皆さまのご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます、新年のご挨拶といたします。

# 物価高騰対策交付金

12月  
定例会

## 第一弾決定!!

12月定例会を12月2日から12日までの間で開催し、補正予算など21の町長提出議案を可決しました。議案の内容は6ページ「議案のゆくえ」を参照ください。

国の補正予算による「物価高騰対策重点支援地方交付金」を早期に施行するため、一般会計補正予算第9号が追加提案されました。

### 国の大型補正予算

国は、物価高騰対策、危機管理・成長投資や防衛力・外交力強化を柱に据えた一般会計18・3兆円の補正予算を決定しました。

この内、生活に直結する物価高騰対策は8・9兆円で、電気・ガス代支援に0・5兆円、子育て応援手当等に0・4兆円、医療・介護施設の経営改善・処遇改善に1・4兆円などが含まれますが、自治体独自で使い道を決定できる「重点支援

地方交付金」2兆円が拡充され、国県からはできるだけ早期に実施することを求められています。

邑南町では「重点支援地方交付金」を活用した第1弾として「あったか応援燃料券配布事業」と「エアコン等購入支援事業第2期」を決定しました。

また「子育て応援手当」を実施するための予算も確保しました。

### あったか応援燃料券

#### 配布事業

満タンにしてください

物価高騰対策として燃料券を配布し、灯油・ガソリン等の購入費用を助成するものです。福祉施設等への入居者を除くすべての世帯が対象で、世帯人数に応じて4000円から6000円を助成します。

昨年12月から配布は始まっており、2月28日が使用期限です。町内の給油所で利用可能です。事業費は、2025万円です。

### エアコン等購入

#### 支援事業

昨年10月から1月末を期限に実施している事業を2月末まで期間を延長します。

内容は、エアコン及び石油ファンヒーターを購入した場合、金額の4分の1、上限5万円を助成します。

事業は好評で、9月補正で確保した923万円のほぼ全額を消費しています。今回は、658万円を追加します。

### 子育て応援

#### 手当事業

国が全国的に展開する事業で、子ども1人当たり2万円を子育て世帯に支援するものです。



児童手当支給対象児童の  
ほか昨年10月1日から今年  
3月31日までに生まれた新  
生児も対象となります。

## 今後の動向

邑南町に交付される「重  
点支援地方交付金」の総額  
は約2億円程度が見込まれ  
ており、今後はできるだけ  
早く活用事業の実施が求め  
られます。

執行部では、新たな事業  
を確定し次第、臨時会を開  
催するなど早期の対応に努  
めるとしています。

議会に対しても活用事業  
への意見が求められ、小中  
学校・保育所の給食費支援、  
福祉施設利用者への利用料  
支援、下水道利用料の支援  
や中小事業者への支援など  
を提案しました。

# 委員会の会議の進め方を変更

閉会中の委員会の持ち方を変更しました。  
定例会などの本会議とは関係なく、閉会中も  
必要に応じて開催し、所管事務の調査を行うこ  
ととしました。  
調査は、議案とは関係なく執行部からのヒア

リングや、各種団体との意見交換会、現地調査、  
先進地視察などを行います。それらの調査の中  
から課題を抽出し、全員協議会での議員間討議  
や、提言書などの提出につなげていきます。  
ご期待ください。

## 総務教民 常任委員会

昨年10月14日の常任委員  
会にて、小中学生が使用す  
るタブレットの更新、予備  
費の執行状況、斎場の今後  
のありかた、井原診療所の  
閉院について執行部より説  
明がありました。

### タブレットの更新

小中学生が使用するタブ  
レットの更新の内容は、現  
行のWindowsタブレット  
からChromebook（クロ  
ームブック）への移行を決  
定した理由について5点説  
明がありました。

- 1【コストと運用効率】  
圧倒的な低コストと管理  
負担の軽減
- 2【強固なセキュリティ】  
標準搭載の多層防御と自  
動更新
- 3【学習効率の最大化】  
高速起動と長時間バッテ  
リーを採用
- 4【学びの深化】

新たなソフトの使用によ  
る協働学習の実現  
5【データの保水性】  
クラウド連携による安心  
安全な環境

委員からは、全校一斉導  
入は可能かと質問をし、学  
校ごとに随時導入していく  
と回答がありました。

11月19日の委員会では、  
学校給食、スポーツによる  
町づくり方針、第三次邑南  
町男女共同参画計画の策  
定、脱炭素先行地域づくり  
事業について説明がありま  
した。

### 水道料金の改定

学校給食については、食  
材費高騰により前年後期の  
1食金額より19・4円高騰  
しているとの説明がありま  
した。

令和7年度の食材費高騰  
分は、12月定例会に補正予  
算が提出され可決しまし  
た。

8年度以降の給食費につ  
いて委員から質問があり、  
給食審議会にて協議を行っ  
ているとの回答がありまし  
た。



タブレットを活用する子どもたち

# 産業建設 常任委員会

昨年11月20日の委員会で説明を受けた中で、水道事業のあり方及びタクシー利用助成について報告します。

## 水道料金の改定

町は、水道事業の健全経営を図るため、上下水道委員会に対して、水道料金の改定について意見を求める諮問を行いました。

それによると、水道事業は安全・安心な水を供給すること、住民生活や社会活動に欠かせない重要な役割を担っていますが、人口減少による料金収入の減少、施設の更新・改修費用の増加、維持経費の増加などにより経営はますます厳しくなっています。

しかし、水道料金は平成29年4月以降据え置いています。

そこで、将来にわたり持続可能な水道事業運営のため、適正な水道料金について、多角的な意見を求めるとしています。

示されたスケジュールによると、令和8年度中に2回程度の委員会を開催し、10月に答申を得、12月議会での議決を経て、9年4月からの料金改定をめざしています。

また、同時に示された資料によると、※公営企業としての事業収益と事業費の見込み、資産（保有管路）の耐用年数の状況、企業債（借入）の状況、料金収入と給水戸数の推移、給水人口と有収水量の推移、基本料金と従量料金の割合などが示されています。

委員からは、水道料金が約9年間据え置かれてきたが、今後も人口減少が続くと増額改定も繰り返されるのではないかと、維持管理を継続するためには、水道事業の再計画を考える必要があるのではないかと質問がある。

り、9年の水道事業ビジョンの改定にあわせ、水道インフラの効率化の再整備計画を考えていると回答がありました。

## タクシー利用助成 事業の状況

タクシー利用助成事業は、令和2年度から3年度にかけて実証運行を行い、4年度から瑞穂地域、石見地域で本格実施をしています。

事業の概要は、瑞穂地域、石見地域（市木を含む）にお住まいの方で運転免許証を所持しない方が対象で、それぞれの地域内での移動が対象で、目的は問いません。

利用料金は、片道810円（初乗り料金）で、タクシー料金の残額を町が助成する事業です。

7年9月末時点での利用登録者は356人で、昨年より35人の増です。予算執行額は564万円で、昨年同期より93万円の増です。7年度後期分は、6

年度実績を踏まえると、447万円程度が見込まれ、7年度通算での執行見込みは、1011万円程度となり、99万円程度の予算不足が見込まれます。

年度途中での事業停止は、利用者への影響が大きく、対応が必要と考えたと説明されました。

不足分を含めた補正予算が12月定例会に提案され、可決しました。

## 用語解説

「公営企業」とは住民生活の身近な社会資本の整備及びサービスの提供を行うため、地方公共団体が経営する企業のこと。その経営にあたっては、独立採算制を基本原則としている。本町では、水道事業と下水道事業がある。

## 討論

特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正

反対

日高八重美 議員



この条例の第1条は、特別職の期末手当の支給割合を引き上げるもので、理由としては、数年間支給割合が据え置かれているため修正をするという内容である。激しい物価上昇、年金の実質的減額や社会保障が後退し、町民の暮らしは厳

しさを増している中、町民の理解は得られないと考え反対する。

賛成

石國佳壽子 議員



20年間変更がなかった特別職への期末手当の月数を、一般職と同様に合わせる変更である。特別職の給与は、物価上昇や賃金上昇に連動しにくい制度で、制度改正の今後の期待も込めて賛成する。

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

反対

日高八重美 議員

「子ども・子育て支援法」の一部を改正する法律が成立したことによる制度で、令和8年度から全自治体で実施される。しかし、設置基準等の審議が不十分な点も指摘されており、現場の声を聞き取って改善すべき点を国へ要望することにも必要だ。もっと現状を把握すべきと判断し反対する。

賛成

石國佳壽子 議員

国が実施する「こども誰でも通園制度」を邑南町でも実施するための条例制定である。8年4月からの実施に合わせて邑南町も制定しなければ施行できないため賛成する。

## 11月臨時会 議案の ゆくえ

11月臨時会を11月10日に開きました。人事案件2件、補正予算案1件を審査し、全員賛成で同意、可決しました。

「人事案件」2件は、教育長に大橋覚氏を再任するものと、教育委員に井上英司氏を任命するものです。

「一般会計補正予算第6号」は、道の駅瑞穂解体事業費の追加と、ガバメントクラウドファンディングを実施するための債務負担行為の補正です。

道の駅瑞穂解体事業

備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正」は、法の改正に伴う改正です。

「自治会館、多目的集会所及び農村公園条例の一部改正」は、出羽農村公園、下対農村公園を廃止するものです。

「教職員住宅管理条例の一部改正」は、日1号住宅及び日貴住宅を廃止するものです。

「個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部改正」は、自治体情報システム標準化に伴

費の追加は、当初予算2200万円に対して1651万円を追加するものです。

額が大きいのは、当初予算で解体個所の見落とし（自転車置場、看板等）があったことと、地権者の要望により跡地の舗装工事が増えたものです。

議会からは当初予算の精度を上げるよう要望しました。

い町が個人番号利用を可能にするための改正です。

「特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正」は、町長、副町長、教育長の期末手当の支給月数を一般職の月数に合わせる改正と、団地での濁り水事案（17ページ参照）の責任を取る意味で、町長と副町長の1月分の給与をそれぞれ20%と10%カットするものです。

「乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定」は、4月から始まる「こども

## 12月定例会 議案の ゆくえ

主な議案を紹介します。

「職員の給与に関する条例の一部改正」「一般会計補正予算第7号」など8議案は、国の人事院勧告に従って町職員の給与を改定するものです。

「家庭的保育事業等の設



誰でも通園制度」を実施するための条例制定です。

「工事請負契約の変更契約の締結」は、高原小学校改修2期工事で、支障木の撤去などで154万円を増額変更するものです。

「一般会計補正予算第8号」は、食材費の高騰により不足が生じそうな学校給食費の追加や、昨年7月、8月発生の災害復旧工事費などです。

「一般会計補正予算第9号」は、重点支援地方交付金活用事業と子育て応援手当（3ページ参照）の追加です。

「電気通信事業特別会計補正予算第2号」は、消費税の還付金を基金に積立てるものです。

他の「特別会計補正予算」は、人件費の補正が主です。

「水道事業会計補正予算第3号」は、国の8年度予算編成で要望額が満たされない見込みから、今年度補正予算で8年度要望の70%を要望するよう国県から指導があったものです。

12月定例会 全員賛成にならなかった議案 O=賛成、●=反対、－=除斥、欠=欠席

区分	議案の内容	石 國	奈 須	鍵 本	野 田	日 高	瀧 田	平 野	宮 田	中 村	辰 田	山 中	結 果
条 例	特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	可 決
	乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	

令和7年度11月、12月補正

	当初予算の額	9月補正後の額	11月補正額	12月補正額	12月補正後の額
一 般 会 計	136億6300万円	135億8302万円	3945万円	2億2037万円	138億4284万円
国 民 健 康 保 険	13億 390万円	13億3582万円	－	△475万円	13億3107万円
直 営 診 療 所	1億4300万円	1億4513万円	－	540万円	1億5053万円
後 期 高 齢 者 医 療	4億4100万円	4億4405万円	－	1205万円	4億5610万円
電 気 通 信	5億2700万円	5億2700万円	－	3511万円	5億6211万円
特 別 会 計 合 計	24億1490万円	24億5200万円	－	4781万円	24億9981万円
総 合 計	160億7790万円	160億3502万円	3945万円	2億6818万円	163億4265万円

令和7年度水道事業会計12月補正

			当初予算の額	6月補正後の額	12月補正額	12月補正後の額
水 道 事 業	収 益 的 収 支	収 入	3億7623万円	3億7623万円	－	3億7623万円
		支 出	4億 508万円	4億 508万円	408万円	4億 916万円
	資 本 的 収 支	収 入	4億2989万円	4億5698万円	1億9016万円	6億4714万円
		支 出	5億8497万円	6億1536万円	2億8575万円	9億 111万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。  
 ※下水道事業の補正はありませんでした。

# いっぱい質問

## 質問者と質問内容

順番	議員名	質問内容	ページ
1	宮田 博	(1) 令和8年度の予算編成 (2) 町産材の有効活用と森林環境保全 (3) 業務の適正管理と執行の確保	9
2	平野 一成	(1) まちづくり基本条例の再確認 (2) コミュニティスクールと地域との協働	10
3	鍵本 亜紀	(1) 新型コロナ健康被害救済制度 (2) 町の実施の状況・検証は (3) 財政難への取り組み	11
4	石國佳壽子	(1) 熊による人的被害の対策 (2) 人口減少の先	12
5	日高八重美	(1) 聴覚障がい者への支援 (2) 農地維持の施策	13
6	辰田 直久	(1) 交流人口の増加施策の相乗効果 (2) 町民からの意見要望の対応と施策	14
7	野田 佳文	(1) マイナ保険証 (2) 熊出没抑制と放任果樹対策 (3) 観光振興	15
8	山中 康樹	(1) 町施設管理の職員不祥事と諸問題 (2) 公営住宅の外国人入居審査	16

一般質問とは・・・議員が町の行財政全般について、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。通告制であり、本町では一問一答方式、制限時間60分としている。

**ガツテン!!**  
**一般質問**  
議長席から見る一般質問

一般質問は、議員から求め質問内容について通告書が議長に提出される▼執行部は通告書の質問内容を検討し、答弁の準備を進める。町長は、担当課長へ通告書に対する答弁を準備する段階で、質問議員に質問の主旨を聞かないようにとのこと。これにより担当課長は、さまざまな角度からの質問にも答えられる答弁書の作成が必要となる▼町長は、的確な答弁をするために通告書の質問内容の主旨を、明確に十分に書いていたいただきたいの思いもある▼質問と答弁が噛み合い、議論が深まり、一般質問を皆さんにガツテン!! いたいたくためにも通告書を受理する議長の責任は極めて重要と痛感している。

漆谷光夫 記



みやた ひろし  
宮田 博 議員

## 令和8年度予算編成の基本方針は

### 課長 事務事業見直し等の方針を設定

宮田博議員

令和8年度当初予算編成における、基本的な考え方や留意事項となる基本方針はどのような示したか。

また、メイン・サブテーマを定め、行財政の改善・改革に繋がる編成方針か。

森田財務課長

当初予算編成方針では、事務事業の見直し、公共施設の適正管理、行政コスト削減の3項目を基本方針として、各項目に具体的な取り組み事項を設定し、重点項目には、人口減少に対応したまちづくりの項目を設定しており、いずれも行財政改善に大きく関連する。



大屋町長

メインテーマは「住み心地の良いまち」をめざし、人とひとの関わりによる協働の町づくりを進めるための創造的チャレンジとした。

財政再建、総合振興計画の策定、町内経済循環と事業者支援、農業農村における地域課題の確実な解決、学校の統廃合、国民スポーツ大会への対応強化を重点とする6項目を示した。

問 町産材の  
有効活用を

宮田議員

本町への移住、定住をめざし、新築・増改築をされる方に、本町の環境に適し



求められる森林整備

答 可能性を慎重に  
検討

た町有林産材を、無償または安価で提供できないか。

小笠原産業支援課長

町有林は、伐採収益を森林育成費用に充てる循環型林業を推進しており、移住者支援等に転用することについては、財産処分の適正性・公平性の観点から、可能性を慎重に整理検討する。

宮田議員

有害鳥獣を本来の住処に戻し、鳥獣被害防止と、地球温暖化対策にも繋がる森林の保全と活用を進め、本町の二酸化炭素吸収率を更に高める、森林整備に取り

組むべきではないか。

小笠原産業支援課長

森林環境の保全は、森林環境譲与税を活用しながら、伐採跡地への植栽は民有林の所有者、林業事業者等と連携して、持続的に森林資源を循環する仕組みづくりを推進している。

有害鳥獣を奥山へ誘導するための森林整備についても、森林経営管理制度を中心に、県の施策とも連携し、動物生息環境の視点も取り入れ、持続可能な森林づくりに取り組む。

その他の質問

宮田議員はこの他に、内部統制に取り組む中で発生した不適切事象の再発防止について問い、町長は、過去に対応しなければならなかったことが今出てきている。内部統制があるからするのではなく、守るための意識が大事であり、強く求めてきていると答えました。

ひらのいっせい  
**平野一成** 議員

## まちづくり基本条例の再確認を

### 副町長 町全体で理念を共有する

**平野一成議員** 大屋町長に町政一年を振り返っての思いを聞く。

**大屋町長** 極力情報共有ができるように思いを伝え、議論ができればと思いながら務めさせていただいた。今回の予算編成のテーマにも協働を入れていくが、町づくり基本条例で協働のまちづくりと言いつつ、町民の皆さんが参加できる部分、関わりたいけど関わり方が難しかったなどの思いがある。

協働の在り方を改めて見直して、関わり方を考え直すなければいけないと思っている。情報提供等に努めるので、町民の皆さんには町政に関心を持っていただき一緒にまちづくりを進めていきたい。



**平野議員** 町長の思いを押し進めるために「まちづくり基本条例」を再確認しませんか。

**白須副町長** 町長の答弁にもあったが、町の情報公開、町民の参加が不十分だという意見もある。議員の質問を受けて、町づくりの基本理念を確認する取組みを進める。町民の皆さんにも条例を知っていたら良い機会だ。

**平野議員** 再確認作業をする時に、

- ①基本条例の簡易版を町内に配布。また、子どもさん、学生さん達にもわかりやすく、学校等でも活用できるものとする。
- ②若い方へのワークショップを開催する。
- ③町の出前講座のメニューに加える。

など、さまざまな方法を駆使して確認に努めてほしい。

次に、公務員の職務宣誓と倫理研修について問う。

**高瀬総務課長** 地方公務員法により、職員は、条例の定めるところにより服務の宣誓をしなければならないとされ、邑南町職員として採用されたものは町長の面前において服務の宣誓をしている。

**平野議員** 町づくり基本条例の中の町職員の責務について現状をどう認識しているか。

**白須副町長** 行政機関として、地方公務員として基本的にはできていると認識している。しかしながら現状、職員の懲戒等を伴う不祥事などが発生していることを鑑みると、町民や町、相互の信頼関係を損なう重大事態だと認識している。対策として、倫理研修に努めている。

別記様式(第2条関係)

宣誓書	
私は、ここに主権が国民に存することを認める日本国憲法を尊重し、かつ、擁護することを固く誓います。	
私は、地方自治の本旨を体するとともに、公務を民主的かつ能率的に運営すべき責務を深く自覚し、全体の奉仕者として誠実、かつ、公正に職務を執行することを固く誓います。	
年 月 日	氏名

職員が署名・宣誓する服務宣誓書

**平野議員** 研修実施時の服務宣誓の振り返りや組織の体制の考え方などを検証していただいて、職員の皆さん全体の士気と個人の倫理意識を高める行動を意識して進めて頂きたい。そして、職員の皆さんの行動が町民の皆さんの意識を変えするという認識で、今後チームづくりをお願いしたい。

**その他の質問**

**平野議員** は、コミュニケーションと地域との協働に関して質問をしました。



かぎもと あ き  
**鍵本亜紀** 議員

## コロナワクチン接種の根拠は

**課長** 国が有効性を認めている

**鍵本亜紀議員**

健康救済制度は、過去にない数値になっており、世界的に新型コロナウイルスへの懸念が高まっている。町としては国が推奨するままに接種を進めてきたが、接種を奨める根拠は、

**岩井保健課長**

国が示す有効性に従い実施している。

**鍵本議員**

前回の質問で接種者の健康データなどはないかと聞いたところ、無いという回答だったが、町民の開示請求によりそのデータが出てきた。町としてワクチン事

業への効果検証はしているか。

**岩井保健課長**

効果検証は国がやるという中での事業だ。

**問** 事業の効果検証は

検証は

**鍵本議員**

事業効果の検証が、数値目標の達成に留まっている。住民の声を反映し、受益の公平性を確保すること。補助金など国からのお金であることに對する責任感や、透明性のある検証システムも大事だ。

**答** 年度毎に行っている

**岩井保健課長**

有機栽培付面積や有機農業の実践者数など伸びており、学校給食での有機米の利用回数も増えている。引き続き取り組んで行く。

**鍵本議員**

数値が伸びているのはわかるが、肌感覚では邑南町がオーガニックビレッジだとわかりづらい。JAしまねでも、県西部のオーガニックビレッジ4市町でまと

まって進めて行くという動きがあるので、ぜひ邑南町も仲間に入って取組みたいかどうか。

**小笠原産業支援課長**

県やJAと連携して取り組んでいく。

**その他の質問**

**鍵本議員**はその他に、森林環境譲与税について質問しました。



オーガニックビレッジの邑南町



# 熊による人的被害予防策は

いしくに か ず こ  
石國佳壽子 議員

## 町長 総合的対策を実施する



石國佳壽子議員

令和7年、東北地方で熊による人的被害が多発し、死者13人、負傷者196人に上った。緊急銃猟制度が導入され、自衛隊も出動し、住民は恐怖で外出を控え経済にも打撃与えた。邑南町でも被害発生の不安が高まる中、美郷町では連携マニュアルを策定した。本町の対応状況を問う。

### 小笠原産業支援課長

緊急銃猟は、人身被害防止のため、銃猟以外の方法で捕獲が困難な場合に市町村長の判断で実施可能だ。全国で43件の発砲事例があり、美郷町ではマニュアル

を策定した。本町では既存のツキノワグマ対応フローを見直し、緊急銃猟の手順を追加した。マニュアルは補足情報を含むフロー図とし、環境省ガイドラインに基づき、緊急時に関係者が参照しやすい運用をめざす。

### 石國議員

緊急銃猟を行う際には猟友会が頼みの綱である。本来の目的と異なるためリスクも高く高齢化も進んでいる。国は熊被害対策パッケージを創設しガバメントハンターの確保を明言した。電気柵設置やICT活用、ドローンによる追い込みなど、専門家派遣や人件費補助を含む支援策が盛り込まれている。

### 小笠原産業支援課長

緊急銃猟には警察や猟友会と連携が必要で、川本警察署と机上訓練を実施した。捕獲者は職員や委託者も可能で、本町は要件を満たす者を確保している。装備品はヘルメットや盾を準備し、環境省の交付金を活

用予定だ。万全の装備をめざす。

### 大屋町長

熊の出没情報をケーブルテレビ等で提供し行動を把握している。山林整備や放任教除除去など出沒予防が基本で、緊急銃猟は最終手段だ。総合的対策を実施する。

## 問 コンパクトシティ構想が必要

### 石國議員

岡山県美咲町を視察し、先進的取組みも苦戦する現状を確認した。本町も同様で、若い世代の取り合いは財源豊富な自治体に有利な状況である。昨年の出生数は32人で5年後は町全体で1クラス分だ。人口増政策



ガバメントハンターで安心を

## 答 ダウンサイジングで対応

### 大屋町長

人口増加を前提としない持続可能なまちづくりをめざす。里山居住者は鳥獣害対策や不法投棄防止、水源管理で重要な役割を担い見えないコストを削減している。コンパクト化すれば新たなコストが発生する。インフラは今後ダウンサイジングや統合で対応し、各地域での生活を支えることが最も効率的だ。

ひだかやえみ  
日本共産党 日高八重美 議員

## 難聴者には耳鼻科受診が必要だ

町長

受診しやすい仕組みを考える

日高八重美議員

2年前に後期高齢者健診で聞こえのアンケートを実施している。1項目でも該当する回答があれば、耳鼻科受診を勧めるコメントになっている。難聴は高齢者だけの問題ではない。初期の段階で早く原因を調べるためには耳鼻科受診が必要だ。町内に耳鼻科医の配置の検討はできないか。

坂本医療福祉政策課長

まずは、総合診療科や小児科を受診し、医師と相談の上専門性の高い医療機関を紹介していただく。また、県内で医師が開業する際には、補助金を活用する制度

もある。邑智病院が耳鼻咽喉科を標榜するには、医師の確保と医療機器の確保が必要となり、対応は困難である。

日高議員

近隣の耳鼻科に受診するにも公共交通が不便。邑智病院に耳鼻咽喉科医の派遣ができるよう方法を考えることも必要ではないか。

大屋町長

耳鼻科への受診しやすい仕組みを考え、補聴器購入の助成をしたとしても、それで終わりということがないように改めて問題点を整理考えていく。

日高議員

手話施策推進法の成立で、国や地方自治体は、手話の習得や手話文化の保存、国民の理解と関心の増進のために取り組むとされている。本町での取り組みについてはどうか。

大屋町長

「手話は言語である」という意味合いをしっかりと理解した上で、条例等対応していく。

問

行政が考える  
農地維持対策とは

日高議員

多くの農業者の皆さんは、自分の農地をどうやって守っていけばいいのかわからない。耕作されなくなった農地の管理を今後どうしようと考えているのか、町の考えを示してほしい。

答

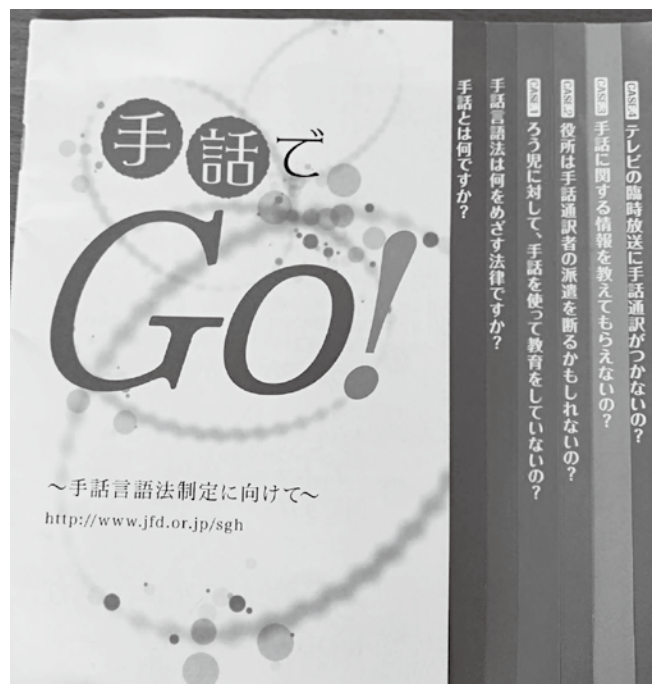
つくり手を増やす  
環境を整える

大屋町長

集落営農が進まなかった

反面、個人で請け負われた方が広く耕作されてきた。しかし、高齢化でつくり手がいなくなった。耕作しなくなった農地については個々の所有のものなので、考えていただく。

つくり手がいなくなるといふ問題なので、まずは、農業をやりたいと思う人を増やしていきたい。そのためには、水の管理や栽培方法など、もっと農業の技術や面白さについて語り、興味深く農業ができるよう環境を整えていきたい。



手話でGOー！

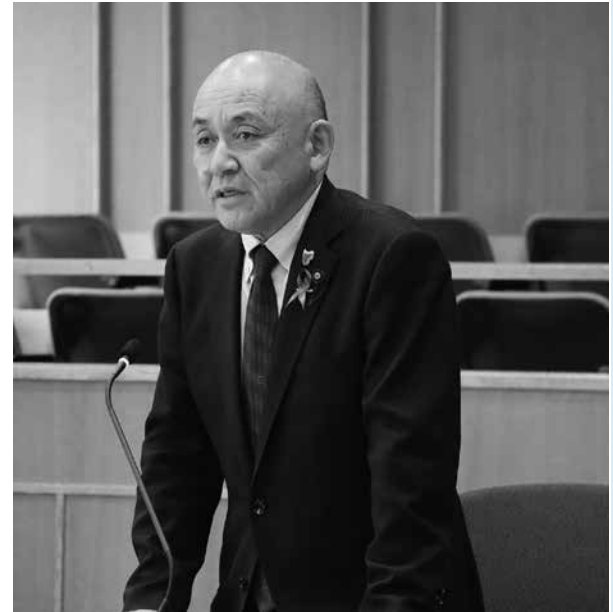


# 交流人口の増加対策で事業効果を

たつたなおひさ

辰田直久 議員

## 町長 山陽、九州方面中心に力を入れる



辰田直久議員

交流人口に対する数値目標はあるか。併せて、産業振興などへの相乗効果を上げるためのターゲットとなる地域をどう考えるか。

田村地域みらい課長

交流人口の対象は多岐にわたり数値目標や実態の把握は難しい。観光や買い物などの目的からすると、近隣の自治体がターゲットであり、広島県は有望と考える。

辰田議員

毎年作成している邑南町観光マップの配布と内容に工夫を加え、町外で事業を営む出身者と連携し目標と

する地域を絞って邑南町への関心を高め、町産物や観光等にも好影響を与えるための対応は。

大屋町長

通常のトップセールスだけでなく地域を限定して捉え、さまざまな人や企業の情報を集約しながら以前より往来や交流も多い広島に九州方面も加え、島根県東部への経由地としても来町者を増やしたい。

問 町民要望への対応は

辰田議員

議会との意見交換会で寄せられた意見や要望について問う。

①町道の標識や白線整備と雑木処理は。

②防災視点での空き家対策は

③多機能で長期対応可能な避難所の開設は。

2025年版  
島根県  
邑南町  
観光  
MAP

MAP



ohnan shimane

豊かな自然と食!

答 可能な範囲で対応

対応

高瀬総務課長

①警察や道路管理者等を窓口に関各機関で住民要望の情報を共有して対応。

小笠原建設課長

①危険箇所の雑木処理や除草作業は適時対応する。地域の作業で出た残存物の処理場は町も協力する。

沖野資産経営課長

②危険空き家は周囲の状況を含め地域と情報共有する

高瀬総務課長

とともに、持ち主には文書にて補助金制度を含め解体を推奨している。

③避難所は既存の建物を利用して現状だが、国のガイドラインに沿って、プラグイン配慮や冷暖房対策など必要に応じた設備備品の充実で対応する。

白須副町長

④防犯や衛生上の観点からも設備の改修を含めて管理体制を整え、条件が揃えば財源を確保して整備を実施する。

来たくなるお得なマップに変身を!



の だ よし ふみ  
**野田佳文** 議員



## マイナ保険証利用登録を高めよ

### 課長 利用促進の案内をしている

野田佳文議員

マイナ保険証の利用登録を高めるための対策は。

秋田町民課長

町のホームページ、医療機関の窓口でマイナ保険証を利用していただくよう案内をしている。

町が所管している国民健康保険、後期高齢者医療保険については、令和7年7月に有効期限を迎える知らせを5月に行い、広報おなん、ケーブルテレビで利用促進の知らせをしている。

7月には、国民健康保険等の加入者には資格確認書等を送付した際、マイナ保



マイナ保険証の利用登録を！

険証の利用を促すチラシを同封している。

野田議員

マイナ保険証を登録していても救急現場で手元になければ活用できない。いざという時に備えるための対策は。

秋田町民課長

江津邑智消防組合のホームページ、広報おなんにて周知している。保険証がマイナンバーカードに紐づけをされていなければ、マイナ保険証としての活用もできない。マイナンバーカードを持ち歩くことに不安を持たれている方もいると聞いている。

マイナンバーカードは、運転免許証と同様に身分証明書として活用もでき、持

ち歩いて紛失などで仮にマイナンバーを知られたとしても、マイナンバーから税や年金などの個人情報調べることとはできない。

マイナンバーカードを持ち歩くことの利便性を広報していくとともに、もしもの時に活用できるよう紐づけの必要性、マイナ保険証のメリットについて改めて周知をしていく。

### 問 放任果樹対策に支援を

野田議員

放任果樹が餌場となる場合もあり、熊の出没抑制のための伐採には支援等も必要だ。

### 答 伐採支援をしていく

小笠原産業支援課長

鳥獣被害対策実施隊員が現地を確認し、鳥獣被害防止のために伐採が必要と認めた放任果樹については、国の交付金などを活用し伐採を委託している。

12月10日時点で33本の伐採をし、今後も17本の伐採を予定している。来年度も国へ要望し、放任果樹の伐採支援は行っていく予定だ。

町内に在住していない方が所有する果樹等多数あり、固定資産税の通知等に合せて、町の支援の周知とともに、放任果樹伐採の呼びかけを行い、熊等が寄りつかない環境づくりに努めたい。

### その他の質問

野田議員は観光振興について質問しました。

# 職員の不祥事と責任は

## 町長 減給をして責任をとる

町政座談会で水道水に濁り水が出ると、出羽地区三本松団地の住民が相談された。町職員が約1年間も問題を放置していた上に、住民に転居を促す文書を上司と相談せず勝手に送り、住民は住宅から退去された。町長は就任の挨拶の中で「情報公開」に努め、「住み心地の良いまち」をめざし、町民の生活の不安とその解消、次世代に誇れる町を町民と一緒につくっていききたいと述べられている。

副町長をはじめ、関係職員4名に10月中旬に「懲戒処分」等が出された。

### 山中康樹議員



県をはじめ他の市町村は職員の懲戒処分の事案など処分の日に報道発表している。なぜ発表しなかったのか。町民の知る権利に反するのではないか。

### 大屋町長

規則では、ホームページに公表することになっているので公表した。このたびは、役場の組織的問題であり町民全体に不安を与えるものではない。

### 山中議員

このたびの新聞報道を読んで、被害に遭われた団地の人をはじめ、町民に対して町の最高責任者として陳謝すべきだ。

### 大屋町長

団地に行き、お詫びをするとともに、今後の対策等の話しをした。責任の取り方として、このたびの減給のお願いの議案を議会に提出した。

### 山中議員

職員に対する懲戒処分委員会について問う。

### 高瀬総務課長

合計7名で、委員長は副

町長、副委員長は教育長、総務課長とあとは職員。会議は非公開で秘密会、議事は公表していない。委員は町長が任命権者になる。本町の顧問弁護士にも相談し意見等をもらっている。

### 山中議員

特別職と職員だけで審査するのではなく、外部より学識経験者を入れるべきだ。

### 高瀬総務課長

考えていない。

### 問

公営住宅の外国人入居が困難

### 山中議員

本町での医療等の福祉関係の外国人就労者が公営住宅に入居する際の審査のための提出書類が多く入居が難しい。



水道水の濁り水が出た団地内のポンプ室

福祉事業者は、ますます若い外国人就労者に頼ることになる。

### 答

空室有効活用を検討する

### 沖野資産経営課長

福祉事業者が社員の為に用意する住宅だと住宅法で入居はできない。

全国で町営住宅の空き家が増えていく中、住宅の有効活用が進められているので、相談があれば国に対して申請することになるので検討したい。

# 団地の濁り水事案

新聞報道にあった町営住宅団地の濁り水事案について、執行部から報告がありました。

## ●経過と内容

令和3年11月11日に発覚し、翌12日に加圧ポンプの故障を発見したが、上司への報告を怠った。この初期対応の不備によって、5年12月24日に発生した大規模な断水と、全戸で水が濁るという事態につながった。

6年3月7日のポンプ修繕工事後も濁り水は解消されず、6月10日以降も複数の住民から繰り返し訴えがあったが、これも約1年間にわたり放置され、住民が不安な生活を強いられ続けた。

6年12月17日に再度住民から相談を受けた職員は、翌18日、正規の決裁を経ず、転居を促す趣旨の文書を送付した。この対応は、7年1月31日に他の住民から本庁へ直接指摘があるまで発覚せず、6月13日に当該住

民は退去された。

## ●総括

今回の行為は、組織的な問題に起因するものであり、管理監督者の責任は重い。今後は、原因の徹底究明と実効性のある再発防止策の実施はもとより、失われた信頼を回復するための真摯で継続的な対話が求められる。

## ●職員等の懲戒処分等

本来、法令等を遵守し、誠実に職務を遂行すべき職員としての義務に違反する。関係職員に懲戒処分を実施した。

議会では、町長から提案された、町長・副町長の8年1月分の給与を減額する条例案を可決しました。

## 95号 訂正とお詫び

95号6ページの「6年度決算の地方債のようす」についてご指摘をいただきました。水道事業については事業会計に移行したため、以下のように訂正します。

### 邑南町の借金はいくら？ 地方債のようす

(単位：万円)

会 計 名		5年度末 現在高	決算年度中増減額		6年度末 現在高
			発行額	償還額	
一 般 会 計		151億8348	33億8726	14億8420	170億8653
特別会計	直 営 診 療 所	1 億7683	840	2233	1億6290
	下 水 道 事 業	40億8279	事業会計に移行したため		0
	電 気 通 信 事 業	6億1641	2億5570	1121	8億6090
合 計		200億5950	36億5136	15億1774	181億1033

## 三階席

巳年が終わった。巳年は、何か新たなことが始まったり、大きな転機が訪れる年と考えられているらしい▼振り返ると、議員のなり手不足解決のひとつに選挙改革も必要であると、組織を作らない選挙運動を実行した。結果は無投票となったが新聞取材を受けたことで、初めて選挙に挑む方から連絡をいただき、自分の経験を伝えた。結果は当選▼自分の経験が誰かのためになれば、と獣害対策も学べる農園を作った。これも記事になり町内外からの見学者が訪れた▼令和8年は午年である。午は成長や成功・繁栄のシンボルとして、縁起が良いものとされている。年男なので、馬のごとく駆け上がる年になるよう、引き続きエネルギーに活動し発信し続ける年にしたい。

野田佳文



## 議会改革特別委員会

# 美郷町新人議員と意見交換

令和7年10月27日に本町議会の定員割れを受け、議会改革特別委員会は、多数の立候補者が出た美郷町の新人議員6名と意見交換を行いました。

### 見えてきた課題と今後

も多く、報酬のみが立候補の決定打ではない現状が浮き彫りとなりました。

### 立候補の背景と報酬の影響

立候補の動機は「地域からの強い推薦」や「若者の声を届けたい」という使命感が中心で

した。美郷町では議員報酬を約31%増額しており、「家族の同意を得る際の後押しになった」との声がある一方、増額を知らずに出馬した議員



美郷町の新人議員と意見交換のようす

らず、選挙のハードルを下げ、誰もが志せる「開かれた議会」への改革を議論の柱としていきます。



商工会青年部の皆さんと交流

## 邑南町商工会青年部と意見交換

令和7年12月16日に、議会に対するイメージや行政への関心をヒアリングすることで、議員のなり手不足の原因を模索することを目的に商工会青年部の皆さんと意見交換を行いました。

青年部からの意見として、「議会活動がわかりにくい」「議員・議会活動と自分の仕事とのバランスの取り方が見えない」「議会報を読む人が少ない」「SNSを活用した情報発信をしてほしい」といった声が多く寄せられました。

また、政策面では、子育て

支援の充実とともに、地域の継続的な住みやすさや、観光地の安全性向上と観光客誘致の要望等がありました。特に、観光地の危険箇所の改善や地域の魅力向上が人を呼び込む町づくりに不可欠であるとの指摘がありました。

一方で、邑南町の良さは

町外に出て初めて気付くという意見もあり、地元の人々が地域のために頑張っている姿が、若者が町に戻るきっかけになっているとの声もありました。

さらに、商工会青年部のイベント活動が町外からの来客を多く集めていることから、これを観光資源としてさらに活用してほしいという要望もありました。

議員側からは、実際の活動内容の説明やいただいた意見への返答を行い、今回の意見交換を通じて、若い世代の議会への関心を高めるための具体的な方策や、地域の課題解決に向けた新たな視点を獲得することができました。

意見交換会終了後には、大変有意義な会だったとの感想をいただき、更なる交流の必要性と、今後の議会活動に反映していくよう議会で議論していきます。

## 人口問題特別委員会

# 岡山県美咲町を視察

令和7年9月30日に、『賢く収縮するまちづくり』と『こどもの笑顔はみんなの幸せ』を合言葉に、町づくりを進めている美咲町で視察研修を行いました。

美咲町では、人口減少に伴い地域課題が多様化する中で、地域が主役、町民主体の小規模多機能自治を行う組織体（地域運営組織）を積極的に進めています。町内81の自治会を13の地域運営組織に再編し、住民が自ら考え決定し実行する組織に移行し、地域（住民）主体で、公共の福祉を担い行政と協働し、住みやすい地域の形成を図っています。

キャッチコピーは「みんなでささえあつてきょうりよくするまちづくり」です。地域課題の洗い出し、住民参画の意識醸成として、大人の意見だけではなく、地域の中学生以上を対

象にしたアンケートを実施するなど、世代を超えた住民参画を重視しています。運営が進んでいる地域では、女性の参画も多く、楽しみながら活動を広げています。また、町は「地域課題共有会議」を設け、庁内の横断的な支援体制を構築し、交付金やふるさと納税を活用して地域活動を支援しています。

人口定住対策では、若い世代への支援を強化し、町内居住者にも補助を広げる方針です。町営分譲団地整備方針として、小規模区画の分散整備、小学校から徒歩2km以内、若者・子育て世代向けに分譲を進めています。

子育て支援では、出産前後から就園・就学後、結婚、住宅取得まで、手厚い支援があります。

例えば、第3子以降の末子の義務教育終了までの水道基本料金助成（水道基本料金が無料）、出産祝金、延長保育、新婚向け家賃補助、分譲地等購入補助など多様です。

また、子ども第三の居場所を開設し、山間部に住む子どもが放課後に安心して過ごし、学び、つながることができる拠点として、地域と連携した居場所づくりを進めています。

邑南町においても自治会再編が進んできています。住民自らも今後の人口減少や人間関係の希薄化に備え、行政も見栄えのよい将来計画ではなく、現実を見据えて賢く収縮する進め方、ふるさと納税などの活用方法は、邑南町における地域組織づくり、定住促進を進める上で参考になると思います。

### 議会の傍聴にお越しください

3月定例会は、3月3日からの開催を予定しています。  
一般質問だけでなく、全員協議会などすべての議事が傍聴できます。お気軽にお越しください。

お問い合わせ先  
議会事務局

TEL：0855-95-1113  
I P：050-5207-3021

### ご意見をお寄せください

この広報に限らず、議会のことについてご意見、ご質問などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

広報公聴常任委員会

委員長	日高八重美
副委員長	石國佳壽子
委員	中村 昌史
	瀧田 均
	鍵本 亜紀
	奈須 正宜



QRコードから  
このページに  
アクセスし  
てご意見をお寄せください

# 迎春 2026 邑南町議会

新春のお慶びを申し上げます



局長	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	議員	副議長	議長
井上 義博	田中 利明	森廣 真美	大羽 聡子	山中 康樹	辰田 直久	中村 昌史	宮田 博	瀧田 均	日高 八重美	野田 佳文	鍵本 亜紀	奈須 正宜	石國 佳壽子	平野 一成	漆谷 光夫

## 編集室の窓



定例会の最終日には広報公聴常任委員会を開催し、掲載する記事の最終確認と執筆の担当を決めます。今号は新年号なので、巻頭は議長が担当です。毎回「三階席」や「ガッテン！一般質問」も委員以外の議員にも執筆依頼し個性のある記事が寄せられます▼なかなか「読む広報誌」へと変身はできていませんが、定例会が始まると広報の編集のことを念頭に置き、印刷をお願いするまで、♪毎日難儀なことはかり〜と心の中でつぶやきながら、インフルが忍び寄る気配を感じつつ原稿書きをしているこの頃です▼♪笑ったり転んだりしながら令和8年もわかりやすく情報をお届けできるよう頑張ります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

(日高 八重美 記)